

# 令和5年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	国語	科目名	現代の国語	単位数	2	履修学年・クラス	1ABC
担当者		使用教材	高等学校 標準現代の国語(第一学習社)				
学習目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを旨とする。</p> <p>○実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>○論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>○言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>						
学習方法	○内容や構成、論理の展開を捉えさせ、要旨を把握させる。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技能(技術)	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。				
	思	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。				
	態	主体的に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、もの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもちようとしている。				
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期中間	【理解編】 なぜ本を読むのか(又吉直樹) 世界は謎に満ちている(手塚治虫) 言葉遣いとアイデンティティ(村上春樹) 言語としてのビクトグラム(本田弘之)	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の考える読書の効用について、文章構成をもとに理解し、自分に照らして考えを深める。</li> <li>「世界は謎に満ちている」ことを説明するための工夫を、文章の構成や事例から把握する。</li> <li>人間関係を調整する「言葉」と「言葉遣い」の役割について、具体例とともに理解する。</li> <li>ビクトグラムが持つ「言語」としての機能を理解し、言語表現の多様性について理解する。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を学ぶ。</li> <li>文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。</li> <li>自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する方法を学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>指名音読</li> <li>ノート確認</li> <li>課題の提出</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>
	【表現編】 話し方の工夫 待遇表現 情報の探求と選択 書き方の基礎レッスン	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し言葉を書き言葉の特徴を理解する。相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。</li> <li>敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。</li> <li>必要な情報を探す方法を理解する。</li> <li>表記・表現の基本ルールを理解する。接続表現の用法を理解する。</li> </ul>	○	○	○		
前期末	【理解編】 水の東西(山崎正和) ステレオタイプの落とし穴(原沢伊都夫) 法律の改正に関わる文章を読み比べる	<ul style="list-style-type: none"> <li>対比関係を用いながら、日本の水文化の特徴について論じる叙述の方法を把握する。</li> <li>ステレオタイプを説明するための論理展開を把握し、筆者の主張について理解を深める。</li> <li>生活の中の表現を題材に必要な情報を読み取り、活用する。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を学ぶ。</li> <li>文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。</li> <li>自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する方法を学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>指名音読</li> <li>ノート確認</li> <li>課題の提出</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>
	【表現編】 論理的な表現 情報源の明示 スピーチで自分を伝える 身近な製品の取扱説明書を作成する	<ul style="list-style-type: none"> <li>論理的に表現するための主張と理由の関係性について理解する。</li> <li>引用の目的と具体的な方法を理解する。</li> <li>自分の意見をわかりやすく伝える方法を理解し、実践する。</li> <li>情報を的確に説明する方法を理解する。</li> </ul>	○	○	○		
後期中間	【理解編】 「弱いロボット」の誕生(岡田美智男) 人はなぜ仕事をするのか(内田 樹) イースター島になぜ鳥がいないのか(笠谷いずみ) 黄色い花束(黒柳徹子)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「弱いロボット」の開発意義を理解し、人との間に生まれた関係性について考えを深める。</li> <li>「パス」という言葉の意味を考え、筆者が述べる仕事の本質について考察する。</li> <li>イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察する。</li> <li>コンボの話題と筆者の子ども時代の話題との関係性を把握し、子どもたちに対する筆者の思いについて考えを深める。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を学ぶ。</li> <li>文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。</li> <li>自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する方法を学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>指名音読</li> <li>ノート確認</li> <li>課題の提出</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>
	【表現編】 相手に伝える案内をする 理想の修学旅行をプレゼンする 実用的な手紙の書き方	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的に沿って的確に案内する方法を理解し、相手や場の状況を押さえて案内する。</li> <li>情報を大勢の聞き手にわかりやすく説明するプレゼンテーションの方法を理解し、実践する。</li> <li>依頼文と案内文の書き方を理解し、実践する。</li> </ul>	○	○	○		
後期末	【理解編】 「間」の感覚 日本語は世界をこのように捉える AIは哲学できるのか	<ul style="list-style-type: none"> <li>「論理の型」(対比)を学ぶ</li> <li>「論理の型」(具体と抽象)を学ぶ</li> <li>「論理の型」(推論)を学ぶ。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を学ぶ。</li> <li>文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。</li> <li>自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する方法を学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>指名音読</li> <li>ノート確認</li> <li>課題の提出</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>
	【表現編】 合意形成のための話し合いを行う 地域の魅力を紹介する 母校の生徒の生活実態を調査する 社会に対する意見文を書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いの進め方のルールを理解し、話し合いを実践する。</li> <li>情報を的確に紹介する方法を理解し、相手に情報を適切に伝える文章の書き方を習得する。</li> <li>相手の目的に応じた報告文のあり方を理解し、実践する。</li> <li>自分の経験の中から意見を導き出せるようになる。</li> </ul>	○	○	○		